

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒
埼玉県草加市稲荷 5 丁



試験名称	床合板を介して木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場 8 4 - 9
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：クリコーナーⅢ ⁺ KCNⅢ ⁺ (床合板仕様) 用途：柱-横架材の仕口に使用する金物 (中柱型) 寸法：45×55×80mm, 板厚 2.3mm 2. 接合具 柱側木ねじ：クリ平頭ビス 5×75, 3本使用 横架材側木ねじ：クリ平頭ビス 5×75, 4本使用 3. 軸組 柱：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 床合板：構造用合板, JAS 1 類 1 級, 厚さ；30mm 4. 試験体数 7 体 (うち 1 体は予備試験体) 参照：図-1 及び図-2 (試験体の形状・寸法)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2008年度版) (企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の 6 章「試験方法と評価方法」に従って行った。試験方法を図-3 に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 (Pot) : 7.4 kN 耐力算定基礎資料：表-1 荷重-変位曲線：図-4~図-6 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果から、厚さ 30mm の床合板を介した柱-横架材の接合部に使用する「クリコーナーⅢ ⁺ KCNⅢ ⁺ (床合板仕様)」は、必要耐力 5.1 kN (T 字型かど金物くぎ CN 65×10 本, 山形プレート金物くぎ CN 90×8 本) 以上であることが明らかとなったため、平成 12 年建設省告示第 1460 号表三 (は) に定める接合方法の性能を満足する。
試験期間	平成 23 年 1 月 11 日及び 12 日
担当者	構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 守屋 嘉晃 試験実施者 森田 嘉 森田 嘉晃
試験場所	中央試験所